

整理番号 1-6-~~5~~- /

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ <u>事務費</u> 事務所費・人件費		
内容	自動車リース料 (30年5月分)		
年月日	平成30年5月18日~平成 年 月 日	金額	30.240 円

目的	—
使途	—
政務活動・ 県政との 関連性	—
<<領収書貼付枠>> 別紙	

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
政務活動と関係で按分	60.480 円	1/2	30.240 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

別紙
1-6-5-1



領収証No.018186

領 収 証

平成 30 年 5 月 18 日

和田 篤夫 様

- 本 社(営業本部) 054-263-8183
- 本 社(総務・経理課) 054-263-8180
- リース静岡営業所 054-263-8182
- リース藤枝営業所 054-647-0800
- リース浜松宮竹営業所 053-411-8800
- リース掛川営業所 0537-23-9000
- リース沼津営業所 055-962-0230
- リース富士営業所 0545-64-0800
- リース小豆餅営業所 053-414-0111
- リース三島営業所
-

金 額	760480円
-----	---------

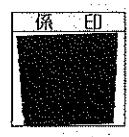
消費税 4480 円を含む

備 考

リース料 平成 30 年 5 月 17 日 49 日
トヨタファイナンス引落し命

※自動車保険料について、保険会社所定の領収証がお客様のお手許に届いた際には、この領収証は無効となります。

上記の通り正に領収致しました。



TOYOTA 株式会社 **トヨタレンタリース静岡**
〒420-0813 静岡市葵区長沼6-1
TEL 054-263-8180

本領収書に社印、或は金額訂正したもの、複写でないものは無効とします。

整理番号 1-6-5-2

決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
--------	-------	--	-------	--	-------	--

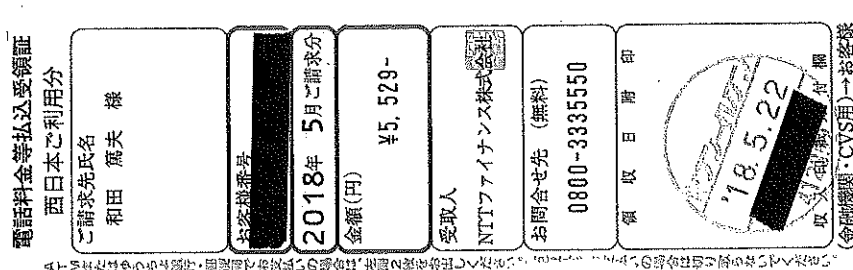
支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請謝辞等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費(事務費) 事務所費・人件費		
内 容	政務活動専用インターネット接続回線料 (30年5月分)		
年 月 日	平成30年5月22日～平成 年 月 日	金 額	5,529 円

目 的	—
使 途	—
政務活動・ 県政との 関連性	—

《領収書貼付枠》



按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの	5,529 円	100%	5,529 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号 1-6-5-3

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

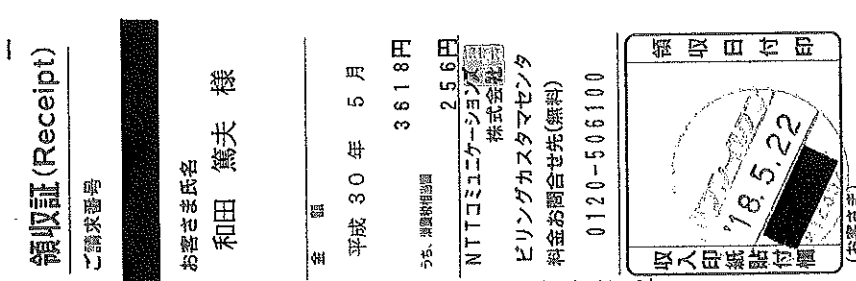
支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・ 事務費 事務所費・人件費		
内容	インターネットプロバイダー料(政務活動専用)		
年月日	平成30年5月22日~平成 年 月 日	金額	3.618円

目的	—
使途	—
政務活動・ 県政との 関連性	—

《領収書貼付枠》



按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの	3.618円	100%	3.618円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号 1-6-5-4

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請精等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費(事務所費)・人件費		
内容	事務所駐車場賃貸料(30年5月分)		
年月日	平成30年5月27日~平成 年 月 日	金額	3,000円

目的	——
使途	——
政務活動・ 県政との 関連性	——

《領収書貼付枠》

領収証 和田篤夫 様 No. _____

★ 7 6,000—

但 駐車場代に

30年 5月 27日 上記正に領収いたしました

内訳

収入印紙	税抜金額	
	消費税額等(%)	

コクヨ ウケ-1097

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
政党活動と政務活動で 按分	6,000円	1/2	3,000円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号 1-6-5

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広報広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費 (事務所費)・人件費		
内容	事務所賃貸料 (30年5月分)		
年月日	平成30年5月1日~平成30年5月31日	金額	17,500円

目的	—
使途	—
政務活動・ 県政との 関連性	—

《領収書貼付枠》

*契約時、政党支部と按分した金額 (H29年 1-8-4-8 添付書類参照)

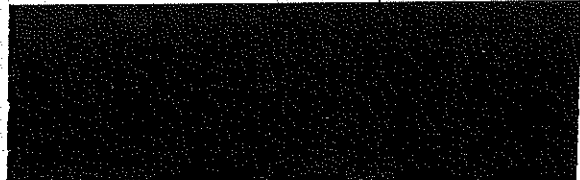
領収証 和田篤夫 様 No. _____

★ ¥ 17,500 —

但 貸事務所代り

30年5月27日 上記正に領収いたしました

内 訳
 税抜金額
 消費税額等(%)



収入
印紙

コクヨ ウケ-1097

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの	17,500円	100%	17,500円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号 1-6-4-6

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・ <u>資料購入費</u> ・事務費・事務所費・人件費		
内 容	新聞購読		
年 月 日	平成30年5月24日～平成 年 月 日	金 額	1.662 円

目 的	県政、社会情勢に関する情報収集
使 途	30年5月分、一般紙新聞購読料
政務活動・ 県政との 関連性	県政等の情報を収集し、政策や質問の参考にする

《領収書貼付枠》

領 収 証

和田篤夫 様

お問合せNo.
(本体:¥6,159)
(消費税:¥492)

中畑 1503-23

銘柄	部数	金額	備 考
静岡新聞セット	1	2,980	
産経新聞	1	3,034	
岳麓	1	637	

合計金額 **6,651 円**

毎度ご購入有難うございます。
上記の金額正に領収致しました。




2018年 5月
593区 84.00

株式会社勝又新聞店
御殿場市新橋 1606-1
TEL : 0550-82-0153

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
政務活動と後援会、私用 で按分	6,651 円	1/4	1,662 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号 1-6-6-7

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費(資料購入費)・事務費・事務所費・人件費		
内容	新聞購読		
年月日	平成30年5月24日～平成 年 月 日	金額	943円

目的	国及び県下等各種情報収集
使途	30年5月分公明新聞代
政務活動・ 県政との 関連性	公明党の政策確認、県政課題、県民意思の把握
<<領収書貼付枠>> 別紙	

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
政務活動と私用で按分	1,887円	1/2	943円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

別紙

1-6-5-9

新聞購読料 領収証

和田 篤夫 様

ご購入ありがとうございます。
下記金額を正に領収いたしました。

2018年5月分 領収日 月 日

領収金額	¥1,887
------	--------

品名	定価(税込)	部数	金額

その他購読料等 領収証




品名	定価(税込)	部数	金額
公明新聞	1,887	1	1,887

販売店 丹野 真一
住所 御殿場市駒門85-22
TEL 0550-78-6703 FAX 0550-78-6713

お申込No. XXXXXXXXXX



整理番号	1-6-5-8
------	---------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	新聞購読		
年月日	平成30年5月25日～平成 年 月 日	金額	1,311 円

目的	国及び県下等各種情報収集
使 途	30年5月分農業新聞
政務活動・ 県政との 関連性	農政関連情報収集、県政課題、県民意思の把握
<<領収書貼付枠>> 別紙	

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
政務活動と私用で按分		1/2	
	2,623 円		1,311 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

領 収 書

No. 057242

和田篤夫 様

30年 5月 25日

金 7 2 6 2 3 円

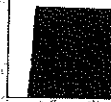
但し 日本農業新聞代
上記の金額正に領収致しました

収入印紙

現金	
小切手	
手形	
振込	✓

御殿場農業協同組合
玉穂支店

取扱者印



整理番号 1-6-5-9

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請酬等酬費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・ <u>人件費</u>		
内容	事務員雇用(30年5月分)		
年月日	平成30年5月7日~平成30年5月31日	金額	62,800円

目的	—
使途	—
政務活動・ 県政との 関連性	—

《領収書貼付枠》

給与支払明細書 2018年5月分 支給日 2018年5月31日										
所属					氏名					殿
出勤日	17	日間	労働時間	時間内	68	時間	分	時間外	時間	分
支給額										
時間給							850		円	
割増時間給							0		円	
時間給合計							57,800		円	
基本給									円	
所定時間外賃金									円	
通勤費							5,000		円	
合計							62,800		円	
控除額										
所得税									円	
住民税									円	
合計							0		円	
差引支給額							62,800		円	

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
雇用時間は全て政務活動にかかるもの	62,800円	100%	62,800円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

雇用実績表

5月分		氏名		
日	曜日	雇用時間数	うち政務活動業務時間数	政務活動業務内容
1	火			
2	水			
3	木			
4	金			
5	土			
6	日			
7	月	4	4	政務活動資料整理
8	火	3	3	来客接待、政務活動資料整理
9	水	5	5	政務活動資料整理、視察送迎(三島駅)
10	木	5	5	要望、陳情整理
11	金	3	3	政務活動資料整理、視察送迎(三島駅)
12	土			
13	日			
14	月	4	4	政務活動資料整理
15	火	2	2	政務活動資料整理
16	水	3	3	来客接待、政務活動資料整理
17	木	5	5	政務活動資料整理
18	金	5	5	要望、陳情整理
19	土			
20	日			
21	月			
22	火	5	5	来客接待、政務活動資料整理
23	水	4	4	政務活動資料整理
24	木	5	5	政務活動資料整理
25	金			
26	土			
27	日			
28	月	3	3	政務活動資料整理
29	火	4	4	5月分政務活動費支出関係書類の作成、政務活動送迎(三島駅)
30	水	4	4	5月分政務活動費支出関係書類の作成
31	木	4	4	5月分政務活動費支出関係書類の作成
計		68	68	

上記のとおり雇用したことを証明する。 平成 30 年 5 月 31 日
 会派・議員名 自民改革会議 和田篤夫 印

[政務活動費充当計算]・・・①又は②の算式を用いて、政務活動費充当分を算出する。
 ①(B)[68時間]×単価[850円]57800円 (C)交通費5000円
 ②総支給額 ① 57800円+(C)5000円=62800円

* 証明は、雇用主が署名して押印する。

整理番号 1-6-5-10

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書 (自動車燃料代)

【 5 月分】 (会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

区分	前回給油(領収書貼付分) A	今回(直近の)給油 B	総走行距離 C=B-A
年月日	年 月 日	年 月 日	
走行距離	km	km	km

(経費項目別充当額)			
経費項目	走行距離 (km)	積算方法※	充当額 (円)
事務費	1340	18円 × 1340 km / km	24.120円
※単価による充当方式 : 単価 (円) × 走行距離 (km) ※領収書による充当方式 ・積上げ方式 : 領収書金額 (円) × 走行距離 (km) / 総走行距離 (上記C) (km) ・充当限度割合による按分 : 領収書金額 (円) × 充当限度割合			
≪支払証明≫上記のとおり支払った (充当した) ことを証明します。			議員氏名 和田 篤夫

≪領収書貼付枠≫			

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの	24.120円	100%	24.120円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

月 日	内 容	行 程	走行距離 (km)
5.03	小山町金太郎祭りにて地域振興意見交換及び事務所にて陳情受け	自宅～小山町～事務所～自宅	31
5.04	スピードウエイイベントにて、OP自転車競技関連意見交換	自宅～事務所～小山町～自宅	28
5.05	浅間神社例祭及び北駿4高校野球大会にて関連行政意見交換	自宅～小山町内各所～事務所～自宅	41
5.07	事務所にて政務調査資料整理	自宅～事務所～自宅	16
5.08	OP自転車競技関連自衛隊部隊訪問及び募集相談員会合	自宅～市内・町内・沼津市～事務所～自宅	78
5.09	防衛議連視察送迎	自宅～事務所～三島駅～自宅	60
5.11	防衛議連視察送迎	自宅～三島駅～自宅	55
5.12	北駿中学野球、防衛団体会同、小山町体育協会総会、市体育協会総会等にて各種行政意見交換	自宅～事務所～町内・市内各所～自宅	62
5.14	市役所にて副市長と意見交換及び事務所にて一般質問資料整理	自宅～事務所～市内～事務所～自宅	23
5.15	東京にてOP関連陳情時の三島駅移動	自宅～三島駅(往復)、事務所	60
5.16	北駿農業振興協議会にて農政意見交換及び陳情対応	自宅～市内～事務所～自宅	23
5.17	県庁にて一般質問資料収集	自宅～事務所～県庁～事務所～自宅	205
5.21	管内自衛隊・警察・消防連携調整及び市飲食業組合総会にて関連行政意見交換	自宅～事務所～市内各所～小山町～市内～自宅	42
5.22	小山町商工会総会及び御殿場市商工会総会にて商工業関連行政意見交換	自宅～事務所～小山町～市内～自宅	36
5.23	サンフロント21総会にて県東部関連事業意見交換	自宅～事務所～三島市内～事務所～自宅	56
5.24	御殿場線利活用促進協議会総会及びJA総代会にて関連行政意見交換	自宅～事務所～市内～事務所～自宅	21
5.25	県庁にて一般質問資料収集	自宅～事務所～県庁～事務所～自宅	205
5.27	事務所にて政務調査資料整理	自宅～事務所～自宅	16
5.29	一般質問資料収集(市役所、県庁)	自宅～事務所～市役所～事務所～三島駅送迎	65
5.30	東名中央道促進協議会にて道路行政意見交換及び県庁にて一般質問関連調整	自宅～事務所～市内～事務所～県庁	111
5.31	県庁にて一般質問調整及びR469建設促進協にて意見交換	県庁～富士宮市～事務所～自宅	106
	合 計		1340

整理番号	1-6-5-//
------	----------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	---	-------	---	-------	---

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	県庁にて調査		
年月日	平成30年5月17日～平成30年5月30日	金額	13,910円

目的	県事業の内容聴取、一般質問資料収集、関係資料整理
使途	交通費（電車代、有料道路通行料）
政務活動・ 県政との 関連性	6月議会一般質問の準備のため、各種事業等の内容や見通し等を確認する
<領収書貼付枠> 別紙の通り	

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの	13,910円	100%	13,910円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

N01

ご利用ありがとうございます。
利用証明書



料金所(自) 御殿場
料金所(至) 新静岡

18年 5月17日
9時57分

通行料金 ¥2,050-
(ETCクレジット)

車種 1

取扱番号
A29805-173760-557828

本利用証明書は、ETC利用照会サービスで印字されたものです。サービス内容の確認は、<http://www.etc-meisai.jp/>にアクセスして下さい。

別紙

1-6-5-11

ご利用ありがとうございます。
利用証明書



料金所(自) 新静岡
料金所(至) 御殿場

18年 5月17日
16時9分

通行料金 ¥2,050-
(ETCクレジット)

車種 1

取扱番号
A29805-173774-526025

本利用証明書は、ETC利用照会サービスで印字されたものです。サービス内容の確認は、<http://www.etc-meisai.jp/>にアクセスして下さい。

N02

ご利用ありがとうございます。
利用証明書



料金所(自) 御殿場
料金所(至) 新静岡

18年 5月25日
9時23分

通行料金 ¥2,050-
(ETCクレジット)

車種 1

取扱番号
A05805-254891-001025

本利用証明書は、ETC利用照会サービスで印字されたものです。サービス内容の確認は、<http://www.etc-meisai.jp/>にアクセスして下さい。

ご利用ありがとうございます。
利用証明書



料金所(自) 新静岡
料金所(至) 御殿場

18年 5月25日
14時28分

通行料金 ¥2,050-
(ETCクレジット)

車種 1

取扱番号
A05805-254903-058724

本利用証明書は、ETC利用照会サービスで印字されたものです。サービス内容の確認は、<http://www.etc-meisai.jp/>にアクセスして下さい。

N03

領収書

Receipt 様

領収年月日 2018.-5.29

金額 ¥10,980 (消費税等込み)

(クレジット扱い)

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(20086.7枚)

東海旅客鉄道株式会社

三島駅

三島駅MV-10発行 30087-02

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

新幹線回数券

三島-静岡 (6枚入り) 10980円

のうち、1,2枚目使用

10980円 x 2/3 = 3660円迄充当

N04

ご利用ありがとうございます。
利用証明書



料金所(自) 御殿場
料金所(至) 新静岡

18年 5月30日
15時20分

通行料金 ¥2,050-
(ETCクレジット)

車種 1

取扱番号
A04805-300916-619219

本利用証明書は、ETC利用照会サービスで印字されたものです。サービス内容の確認は、<http://www.etc-meisai.jp/>にアクセスして下さい。

整理番号	1-6-5-12
------	----------

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	防衛議員連盟県外（沖縄）視察		
年月日	平成30年5月9日～平成30年5月11日	金額	118,660円

目的	沖縄に所在する陸、海、航自衛隊の各部隊及び米軍基地を研修し、主として沖縄における国土防衛の現況及び沖縄駐留米軍の現況を調査・研究するとともに、沖縄防衛局では基地対策を主体に、基地所在自治体としての行政運営を含めた今後の県政の資を得る。
使途	視察時の交通費、宿泊費、その他諸経費
政務活動・県政との関連性	自衛隊、米軍基地所在自治体としての行政運営を含めた今後の県政の資を得る。
<<領収書貼付枠>> 別紙	

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの	118,660円	100%	118,660円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に

別紙
1-6-5-12

領 収 証

2018年04月25日

和田 篤夫 様

金額	¥ 118,660 ※
----	-------------



但し 2018/05/09発 防衛議員連盟
沖縄視察代金

上記の金額正に領収いたしました。

Ref.No. 0000003983 予約No. 76539

御注意

1. 手書きのもの並びに金額の訂正したものは無効とします。
2. 社用印、担当者印なきものは無効とします。

観光庁長官登録旅行業 第638号

株式会社 

本社営業所  徳島部

〒425-0027

静岡県焼津市栄町

2-2-2



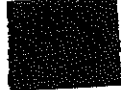
アンビ・ア パークビル2F

TEL:054-620-7731

FAX:054-620-7729

担当者印



決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県外調査概要書</p> <p>平成30年5月18日</p> <p>会派名・議員氏名 和田 篤夫</p>						
目 的	<p>沖縄に所在する陸、海、航自衛隊の各部隊及び米軍基地を研修し、主として沖縄における国土防衛の現況及び沖縄駐留米軍の現況を調査・研究するとともに、沖縄防衛局では基地対策を主体に、基地所在自治体としての行政運営を含めた今後の県政の資を得る。</p>					
年 月 日	平成30年5月9日～平成30年5月11日					
場 所	沖縄県					
内 容	<p>1 行程 2 応対者 3 聴取内容 4 県政への反映</p> <p style="margin-left: 150px;">} 別添「計画」及び「報告書」1-6-5-12のとおり</p> <p>県内には、陸上自衛隊の駐屯地が4ヶ所、航空自衛隊の基地が3ヶ所、米軍基地が1ヶ所あり、人員も約1万人が勤務している所謂基地のある自治体である。防衛の問題は国の所管事項とはいえ、関連施設の管理や防災にかかわる事項等は地方自治体の大きな事項であることから、沖縄県に所在している自衛隊や米軍施設、そこで任務にあたっている主要な指揮官等との意見交換は、大変意義のあるものであった。</p> <p>その中でも、任務意識を持ち真剣に職務に取り組んでいる現場の隊員に対しては敬意を表するとともに、しっかりと支えていく必要があると感じた。また、これらの活動には地域住民の理解なしには成り行かないとの強い意識を感じ、このことも理解し、協力していくべきだと感じた。そのためには、今後も彼らの活動を身近で確認しながら、連携を深め、相互理解と情報の共有を図り、県と自衛隊等の役割を踏まえた事案の対処ができることが県民の安全・安心につながるものと思料する。</p>					

1-6-5-12

ご旅行代金明細書

平成30年4月23日

静岡県議会議員 和田篤夫 様

株式会社 アンピ・ア 本社営業所
〒425-0027 焼津市栄町2-2-21
Tel:054-620-7725 Fax:054-620-7726
所長: 蒔田卓史

視察代金明細につきまして下記の通りご案内申し上げます。
ご査収の程、よろしくお願い申し上げます。

静岡県議会 防衛議員連盟 沖縄視察団
期間:平成30年5月9日(水)～11日(金) 3日間
人員:1名様

ご請求金額	118,660 円
-------	-----------

項目	内容	単価	数量	金額
航空運賃	5/9羽田-那覇 全日空469便	22,100	1	22,100
航空運賃	5/11那覇-羽田 日本航空908便	21,200	1	21,200
宿泊代	5/9パシフィックホテル沖縄	16,500	1	16,500
宿泊代	5/10リザンシーパークホテル谷茶ベイ	16,500	1	16,500
バス借上げ代	バス借上げ代総額408,000円を15名で按分	27,200	1	27,200
添乗員経費	87,000円を15名で按分	5,800	1	5,800
JR、私鉄代	三島-羽田空港往復	4,410	2	8,820
手数料		540	1	540
			合計	118,660

1-6-5-12

防衛議員連盟

沖縄視察報告

平成30年5月9日～5月11日

視察研修成果報告

1 陸上自衛隊第15旅団

(1) 対応者: 第15旅団

旅団長 陸将補 原田 智総
 副旅団長 一等陸佐 伊崎 義彦
 幕僚長 一等陸佐 井川 賢一

(2) 聴取内容

第15旅団は西部方面隊(熊本)隷下の離島型旅団であり、ゲリラや特殊部隊による攻撃やNBC攻撃、島嶼部に対する侵略、大規模特殊災害等の新たな脅威や様々な事態に迅速かつ実効的に対応出来る体制を構築する一環として編成されている。

那覇市に司令部を置き、東西約1000km南北約400kmという広大な海域に、有人島50を含む160の島々を持つ沖縄県の防衛警備、災害派遣を任務している部隊である。

この部隊は、隊員約2100名、戦車や大口徑火砲を持たない軽装備の部隊であり、特徴的な任務として、第2次世界大戦において国内唯一地上戦が行われた地域であることから、不発弾処理専門の部隊を保有、また、離島が多いことから緊急患者空輸という2大民生協力を実施している。その具体的な成果としては、緊急患者輸送即応体制を常時維持しつつ、昭和47年12月以来県民の命綱として活動し、平成28年10月に9000回目の緊急患者空輸を完遂、また、不発弾の処理については昭和47年本土復帰以来、平成28年11月現在まで約36000件(1760t)の不発弾を処理した。

また、各地で行われる、行事の音楽演奏や装備品展示等を通じ地域の各種活動に協力、国民・県民の皆様との信頼関係醸成に取り組むとともに、日米ジョイントコンサート、日米協同警備訓練などを行い日米の部隊交流をはかっている。第15旅団が、沖縄を中心とする広大な日本列島南西地域の国土保全と安全を確保するため、離島展開能力の向上、水陸両用戦闘能力の保持、災害対応能力の向上を図るため引き続き努力しつつ、これからもあらゆる任務を完遂し、地域の皆様とともにある部隊を目指し、我が国の安心と安全を守るため日々精進している姿に感動致した。

第15旅団司令部玄関



第15旅団副旅団長による概況説明



資料館研修



大東和戦争沖縄地上戦ジオラマ



2 航空自衛隊 南西航空方面隊(那覇基地)

(1) 対応者:南西航空方面隊

司令官 空将 上ノ谷 寛
副司令官 空将補 谷嶋 正仁
清水防空司令、下田防衛部長

(2) 聴取内容

那覇基地は沖縄の本土復帰の同年10月に設置され、翌年1月から実施された対領空侵犯措置を主な任務として活動している。

2009年にF-15が配備され、2016年にF-152個部隊体制となり、2017年に南西航空方面隊として編成され現在に至る。那覇基地は那覇空港を管轄する国土交通省と自衛隊による共同管理となっており、他の基地と違い88%が民有地の借り上げで賃料を払っている。

南西航空方面隊が管轄する南西地域の特性は東西920km、南北780kmと日本の空域の25%を管轄するにも関わらず、土地は日本の国土の1%にも満たないため、空港の整備に難があり、南西航空方面隊が使用できる滑走路は那覇基地のみとなっている。

主任務は防衛空域の警備、防衛、災害出動、米軍との調整などだが、その中でも特に重要な任務が「対領空侵犯措置」である。領空を審判するおそれのある不明機を発見した場合は航空隊が出動し、警告を与え、場合によっては退去や強制着陸の措置を行う。

南西空域における主に中国の航空機の活動が活発であり、平成29年は全国904回の対領空侵犯措置のうち477回が南西空域で行われた。昨年は中国機が第一列島線を越え紀伊半島まで侵入するケースも発生するなど、南西航空方面隊の重要性は増している。

那覇基地内に存する防空司令(DC)は南西空域に設置された4つのレーダーサイトの情報を統合し、敵味方識別など南西空域の防衛の要として機能している。



南西航空方面隊司令官上ノ谷空将表敬



旧軍砲台(沖縄基地内)



南西航空方面隊主力戦闘機F-15

3 海上自衛隊 第5航空群

(1) 対応者:第5航空群

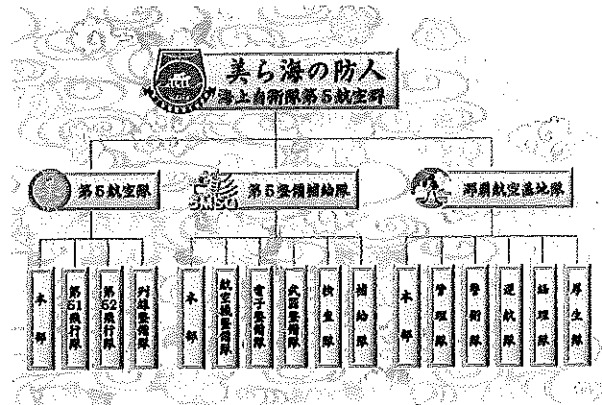
司令 海将補 市田 章
 首席幕僚 一等海佐 山形 文則
 概要説明者:桑井広報室長



(2) 聴取内容

第5航空群は、航空自衛隊那覇基地のエリアにあり、陸上自衛隊那覇駐屯地とも隣接している。

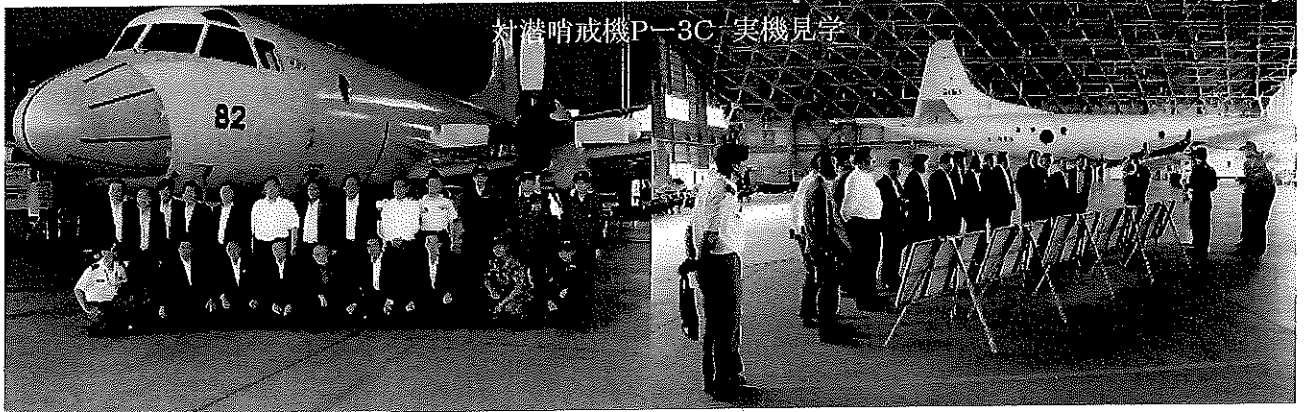
編成人員は約800名、主な部隊は(右図参照)、海上自衛隊に4つあるP-3C(対潜哨戒機)部隊の1つで、尖閣諸島を含む南西諸島(東シナ海海域の南部)周辺の警戒監視、情報収集を毎日実施している航空部隊の第5航空隊、航空機と装備品の整備や補給業務を担当し、災害派遣と



して捜索救難、患者輸送等を行う第5整備補給隊、基地の維持管理等後方支援業務を担当し、また、地域との交流や広報活動を行う那覇航空基地隊がある。

これまで、国際貢献活動として、ソマリア沖・アデン湾における海賊対処行動に計7回航空隊を派遣し、各国と協力しつつ海賊対処活動に従事したり、海外で発生した災害(遭難漁船の捜索や洋上救難等)に対して救助活動に従事している。

ブリーフィングの後、格納庫においてP-3C対潜哨戒機の説明を受けた。各議員からの質疑に回答いただき機内の見学もできた。P-3Cの性能を確認しつつ、この部隊の監視業務の重要性を改めて認識できた。



5 辺野古の現状(キャンプシュワブ内)

(1) 対応者

防衛省中国四国防衛局総務部総務課 須々田 政宏 氏

防衛省中国四国防衛局総務部総務課 岡田 岳 氏

(2) 聴取内容

今回の視察は、大浦湾を挟んでキャンプ・シュワブの対岸に位置し海側から現場が視察できるカヌチャリゾートにて、工事概要等の説明を受けた。

キャンプ・シュワブの沿岸部における普天間飛行場代替施設建設事業(公有水面の埋め立て工事)の内容は、埋め立て面積約160ha、埋め立て度量約2.062万 m^3 、滑走路の長さ1.200m \times 2(オーバーランを1.800m \times 2)、総事業費約3.500億円以上、工事期間約5年というものである。

普天間飛行場代替施設建設事業の工事に係る経過は、平成16年9月に海上ボーリング調査に着手、平成19年8月に環境影響評価手続きが着手され、平成24年12月に同手続きが完了した。

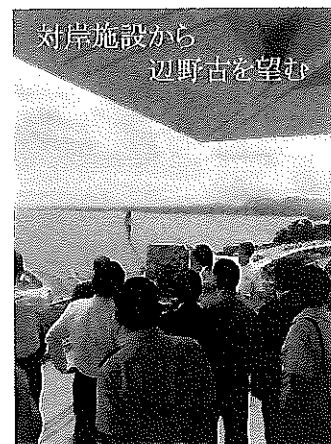
平成25年3月には埋立承認願書の提出され、同年12月埋立の承認、平成26年9月埋立変更承認申請書の提出、同年12月変更承認書が承認された。

平成27年7月には実施設計等の協議文書を提出したが、同年10月沖縄県知事による公有水面埋立承認が取消され、同月沖縄防衛局長から国土交通大臣に対し審査請求・執行停止の申立て、それを受け国土交通大臣から沖縄防衛局長に対し執行停止の決定がされた。並行して、政府は同月実施設計等の協議終了の文書の提出、同月工事着手届出書の提出、公有水面埋立てに係る工事(作業ヤード)に着手した。

国と県の係争の末、平成28年12月に沖縄県知事が公有水面埋立承認取消処分を取り消し、同月工事が再開され、撤去したフロートの再設置や汚濁防止膜の展張を行い、平成29年4月25日に護岸工事に着手している。

今なお、現場では海上・陸上ともに反対の抗議行動は繰り返されており、海上では海上保安庁が、陸上では警察による規制が行われているという。

当局としては、工事の実施に当たっては、作業の安全に十分留意した上で、関係法令に基づき、自然環境や周辺住民の生活環境に最大限配慮しながら、普天間飛行場の1日も早い返還を実現し、沖縄の負担を早期に軽減していくよう着実に工事を進めていく考えであった。



6 キャンプハンセン

(1) 対応者

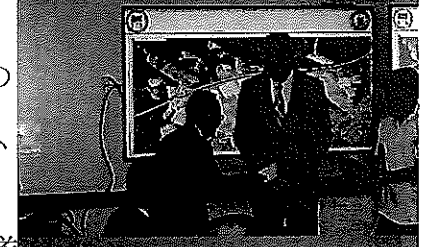
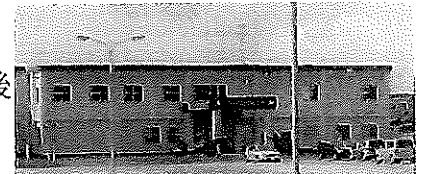
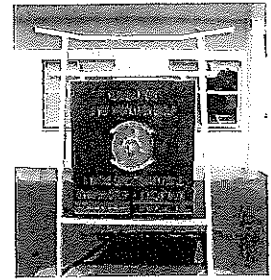
米軍キャンプハンセン副司令官 リチャード J ライアン

金武町役場企画課基地渉外・国際交流係 仲間あずさ係長

(2) 聴取内容

キャンプハンセンの視察では、最初に基地副司令官から施設の概要や海兵隊の展開、地域貢献などについて説明を受けた後、キャンプ内を車から視察した。説明は副司令官からで、海兵隊施設としての訓練環境やキャンプを構成する総員が7,000名であること。沖縄県内の米軍海兵隊の組織構成。アジア地域での海兵隊のローテーションなどにおけるキャンプハンセンが果たす役割、本県内にある海兵隊キャンプ富士の位置付け、テロ対策や災害対策、今年から来年にかけての取り組み状況、内外の軍関係者の教育プログラムや訓練施設概要、地域住民に施設を開放するなどの友好関係構築の取り組み、沖縄県内の米軍既存施設の日本への返還への取り組み状況と予測などについて、具体的な数値などを用いて説明をうけた。

視察団からの質問では、平成23年の東日本大震災の米軍との「トモダチ作戦」を契機に、その2年後(平成25年)に開催された、静岡県総合防災訓練の折、沖縄県に駐留する海兵隊幹部が本県を訪れたものの、その後の連携がよく見えないことから、海兵隊の司令部としてどのようにとらえているか質問したところ、大変重要な課題ととらえ、現状を調査したいということと、必要に応じて今後もキャンプハンセンの司令部を通じて対応を考えたいという答弁をいただいた。キャンプ富士は施設規模が小さく、駐在する人員数も少ないことから、今後もキャンプハンセンでの対応になるのではないかとということで、本県にとって力強い後ろ盾を頂いたように受け止めた。また、鳩山内閣時に決定した沖縄海兵隊のグアム移転の状況については、沖縄県南部にある基地の返還を確実にすることが重要であること。しかし、基地移転問題で進捗が思うように進まず苦慮している。また、最近の南シナ海の問題は決して軽いものではなく、今後はさらに緊張感が高まるかもしれない。この地域を守るための沖縄の米軍基地の役割は大きいという説明があった。



沖縄県における日本の防衛や米軍との課題は、マスコミを通じて知ることが一番の情報源ではあるが、現場の指揮官から現実的な話を聞くことにより、様々な局面があることを知ることができた。

国民にとって、真実や現実を冷静に見極めることが重要であることを再認識した。先ほども触れたが、国民の多くはマスコミの情報が全てと捉えがちである。自衛隊は自らインターネットを使った情報提供に力を注ぎ始めている。米軍も様々な媒体を通じて広報し、また基地を定期的に開放するなど多くの地元民が米軍基地への理解が深まるよう努力していることが分かる。

副司令官の印象に残る言葉は、「基地は沖縄を形成している一つの街であり、その責任を果たさなければならない。」であった。

7 航空自衛隊 第19高射隊(恩納村分屯基地)

(1) 対応者:第19高射隊

隊長 二等空佐 武藤 則久

副隊長 一等陸尉 千北 一幸

(2) 聴取内容

恩納村分屯地に所在する第19高射隊は、那覇に所在する南西航空方面隊隷下の第5高射群にある4個の高射隊の一つで、分屯地司令は、第19高射隊長が兼ねている。

主たる任務は与えられたエリア(沖縄南西域)の防空、領空侵犯機(敵機)迎撃で、対空ミサイルペトリオットを装備している。近年、中国空軍の動向が顕著であり、緊張を強いられた中で訓練に励んでいる。対空ミサイルの性能等については機密情報とのことで知ることができなかったが、任務達成への強い責任感を感じることができた。

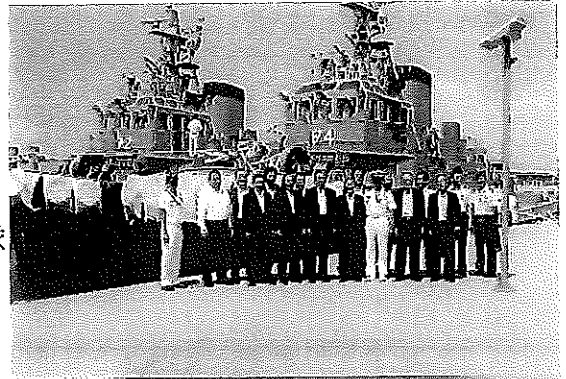
沖縄所在部隊に共通する地域との関係強化への取り組みについては、この部隊も高い配慮をされており、所在自治体や住民との間で様々な行事を行っている。



8 海上自衛隊 沖縄基地隊

(1) 対応者: 沖縄基地隊

沖縄基地隊司令 一等海佐 佐々木 輝幸
前任伍長 田頭 和則 他



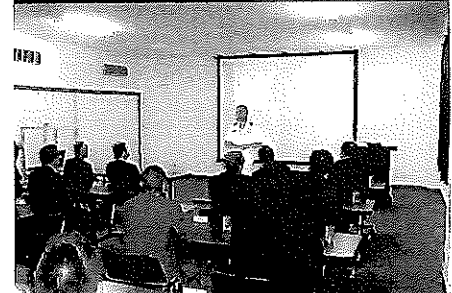
(2) 聴取内容

今回の最後の視察先として、海上自衛隊沖縄基地隊を訪問、沖縄基地隊は、海上自衛隊佐世保地方隊隷下の第46掃海隊の基地であり、掃海艇3隻が所属しているほか、寄港する海上自衛隊の艦船などが岸壁を使用しており、年間約200隻が入港している。

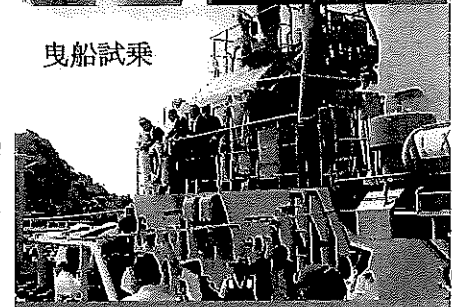
同基地は沖縄県うるま市に所在し、勝連半島の先端にあり、別名勝連基地とも呼ばれている。また、アメリカ海軍の軍港であるホワイト・ビーチ地区に隣接しており、事実上一体化して使用されている。(米軍基地の中に、飛地として所在する)



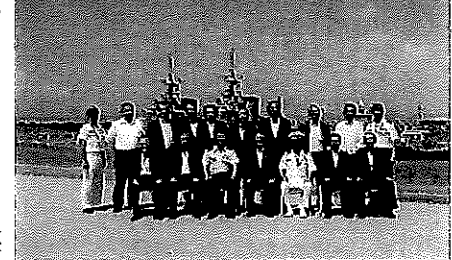
海上自衛隊沖縄基地隊は、掃海艇、水中処分隊特務船、曳船、交通船等を保有し、主として沖縄の沿岸、重要港湾等を防備するために設けられた南西諸島唯一の艦艇基地部隊であり、235名の自衛官が勤務している。



沖縄基地隊の主な任務は、・防衛警備、・入港艦艇に対する後方支援、・爆発性危険物処理、災害派遣等の民生協力、・港湾調査等情報の収集等重要な職務に就いている。特に水中処分隊は、近年、那覇空港の増設や、大型のクルーズ船を多く入港させるため、喫水を深めるための浚渫工事が多く行われており、その工事に見つかった不発弾の処理が毎日のように行われている。



沖縄所在の部隊として職務及び円滑な基地運営をしていくためには、米海軍や地域住民とのコミュニケーションが大変重要になっている。ホワイトビーチフェスティバル、日米親善行事「海中道路ビーチクリーン」、ふれあいコンサート、サマーフェスティバル、ハーリー大会等、数多くのイベントを行い、米海軍や地域住民とフレンドリーな関係を築いている。このことから、報道による情報だけがすべてでないことが良くわかる。命を懸けて職務に当たる自衛隊、自衛官には全く頭の下がる思いであり、今回の視察で得たものを広く県民に報告して、国防について議論を重ねてまいります。



9 意見交換会

(1) 出席者

9日:空自 南西航空方面隊副司令官 谷嶋 空将補
 // 南西航空警戒管制団司令 横尾 空将補
 // 第5高射群司令 鎌田 1等空佐

陸自 第15旅団副旅団長兼て那覇駐屯地司令 伊崎1等陸佐
 // 幕僚長 井川 一等陸佐

海自 第5航空群司令部主席幕僚 山形 一等海佐

10日:空自 第19高射隊長兼て恩納分屯基地司令 武藤 2等空佐

// // 副隊長 千北 1等空尉 他1名

海自 沖縄基地隊副司令 上山 2等海佐

// 第2掃海隊司令 瀬戸口 2等海佐 他2名

(2) 聴取内容

防衛議員連盟の会長である多家会長から視察を受け入れて頂いた各自衛隊幹部に対する感謝の言葉が述べられたあと、当防衛議員連盟の設立の主旨と活動している概要報告説明が述べられ、近年の視察実績の内、北部方面隊千歳基地、対馬及びウニ島のレイダーサイトの緊張感ある視察内容と、昨年の仙台方面視察では、自衛隊が行った東日本大震災発災時、及び現在までの復興支援行動の視察と合わせて、東日本大震災の被災地のその後の、復興状況の現地視察調査も実施した旨の詳細説明を行った。また、静岡県内では、伊豆市・下田市・吉田町で首長として活躍している事例を紹介した。

出席した自衛隊側の主な発言を紹介すると、空自幹部からは南西地域の防空状況特にスクランブルの年間発進回数1.168回の内904回が中国関連となっている現状報告がなされた。

早期警戒機配備による監視体制の現状と、その必要性が示された。

これらの任務達成に必要なパイロット等の養成基地である、航空自衛隊の静浜・浜松両基地の重要性が述べられた。一方、陸自幹部からは、富士学校の幹部教育の重要性が述べられた。

いずれの自衛隊幹部も現在、沖縄に所在する自衛隊に対する県民感情については、まだまだ改善されるべきである旨の説明があり、歴史的背景を十分に認識して現在果たしている職務の中で国民の負託に応えていく決意が述べられた。その後、各テーブル別の意見交換に移行し、議員と自衛隊幹部との絆が深まった。



意見交換会(9日)



意見交換会(10日)



1-6-5-12

防衛議員連盟 沖縄視察計画

米軍基地に入るのに「パスポート」を携行

平成30年5月9日～5月11日

静岡県議会「防衛議員連盟」沖縄視察計画

1 目的

沖縄に所在する陸、海、航自衛隊の各部隊及び米軍基地を研修し、主として沖縄における国土防衛の現況及び沖縄駐留米軍の現況を調査・研究するとともに、沖縄防衛局では基地対策を主体に、基地所在自治体としての行政運営を含めた今後の県政の資を得る。

2 日程

平成30年5月9日(水)～5月11日(金)

3 参加者

静岡県議会、防衛議員連盟 15名

会長：多家 一彦
副会長：中谷 多加二
森 竹治郎
鈴木 洋祐
落合 慎吾
鈴木 澄美
鳥澤 由克
渡瀬 典幸
野崎 正蔵
土屋 源由
野田 治久
木内 満
江間 治人
坪内 秀樹
事務局長：和田 篤夫

4 視察の概要

「別紙」参照

- ※ 1日目の意見交換会・・・沖縄所在陸、海、空自衛隊高級幹部
- ※ 2日目の意見交換会・・・沖縄所在分屯基地等の司令等

5 視察先調査項目

(1) 陸上自衛隊 第15旅団

- 島嶼防衛の考え方
- 与那国島等の沿岸監視部隊新編の考え方
- 緊急患者空輸、不発弾処理の状況

(2) 海上自衛隊

ア 第5航空群

- 海自の南西諸島における哨戒（潜水艦の監視）状況
- 南西諸島等の領海における中国（海軍）等に対する警戒・監視状況

イ 沖縄基地隊

- 護衛艦等の補給、休養業務
- 周辺の掃海業務
- ホワイトビーチにおける日米の共同使用状況

(3) 航空自衛隊

ア 南西航空方面隊

- 南西海空域における警戒・監視、管制の状況
- 対領空侵犯措置（スクランブル）の状況

イ 第19高射隊

- 防空態勢の状況
- 弾道ミサイル攻撃等に対する迎撃

(4) 米海兵隊 キャンプハンセン

- 米海兵隊の状況

(5) 沖縄防衛局

- 辺野古の状況及び米軍関連施設等の概要とこれらに伴う対応状況

6 その他

本視察・研修には、自衛隊静岡地方協力本部が同行、支援する。

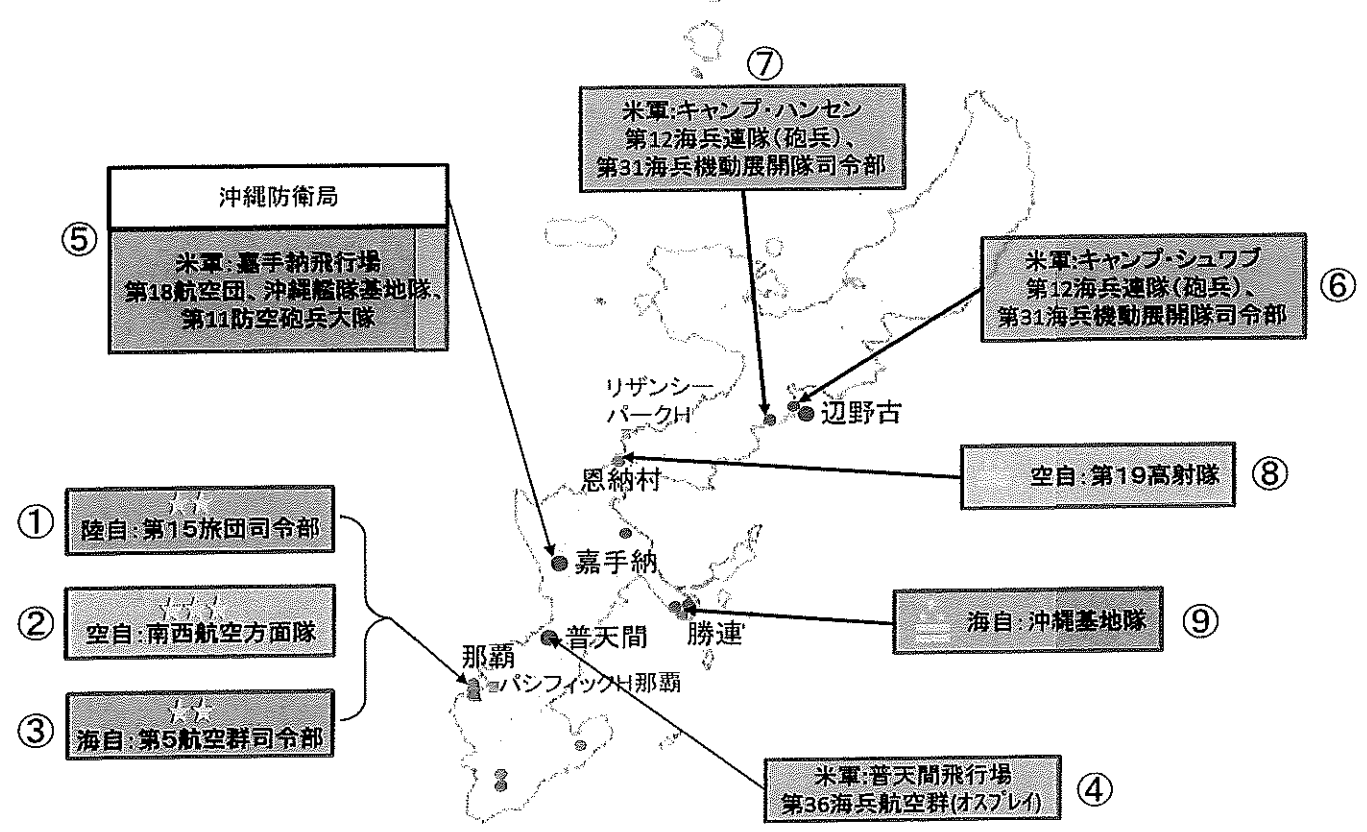
1-6-5-12

別紙

視察の概要(行動予定)

行 動 の 概 要	
5月9日 (水)	<p>0500 本部</p> <p>0900/1045 羽田空港 ANA 469便 昼食(弁当)</p> <p>1330 那覇空港</p> <p>1400 陸自第15旅団 ・写真撮影 ・表敬訪問 ・フリーフィンク ・資料館見学</p> <p>1530</p> <p>1550 空自南西航空方面隊 ・表敬訪問 ・フリーフィンク ・施設、装備品見学</p> <p>1650</p> <p>1710 パシフィック臼杵橋</p> <p>1830 H内意見交換会 自衛隊 ・陸旅団長 ・空方面隊司令 ・海5空群司令</p> <p>2030</p> <p>1115 1145</p>
5月10日 (木)	<p>0815 パシフィック臼杵橋</p> <p>0830 海自第5航空群 ・表敬訪問 ・フリーフィンク ・装備品見学</p> <p>0945</p> <p>1030 高台から普天間飛行場視察 沖縄防衛局と合流(PT)</p> <p>1115 空軍嘉手納基地視察 局長表敬訪問 沖縄防衛局</p> <p>TBD 昼食(防衛局計画)</p> <p>1315 車中 キャンプシニア 辺野古視察</p> <p>1445 海兵隊キャンプハンセン 概要説明</p> <p>1600 空自恩納分屯基地 ・フリーフィンク ・施設、装備品見学</p> <p>1745</p> <p>1800 リザンシーパーク臼谷茶畑</p> <p>1900 H内意見交換会 自衛隊 ・空自恩納分屯基地 隊司令 ・海沖繩基地隊司令</p> <p>2100</p> <p>15分 30分 35分 60分 20分 25分 10分</p> <p>1145 1415 1530</p>
5月11日 (金)	<p>0815 リザンシーパーク臼谷茶畑</p> <p>0930 海自沖繩基地隊 ・表敬訪問 ・フリーフィンク ・施設、装備品見学</p> <p>1045</p> <p>1200/1315 那覇空港 ANA 1264便</p> <p>1530 静岡空港</p> <p>1200/1320 那覇空港 ANA 468便</p> <p>1540 羽田空港</p> <p>1900 本部</p> <p>55分 1時間5分</p>

視察場所・施設及び視察順序要図



整理番号 1-6-5-12

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広報報費・要請陳情等活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	沼津市にて政務調査		
年月日	平成30年5月8日～平成 年 月 日	金額	1,360円




目的	自衛隊静岡地方協力本部沼津事務所にて自衛官募集の現況調査
用途	上記政務調査時の高速道路代
政務活動・ 県政との 関連性	地方自治体が行っている自衛官募集行政に資する

《領収書貼付枠》

<p>ご利用ありがとうございます。</p> <p>利用証明書</p> <p> NEXCO 中日本</p> <p>料金所(自) 御殿場 料金所(至) 沼津</p> <p>18年 5月 8日 14時12分</p> <hr/> <p>通行料金 ¥680- (ETCクレジット)</p> <p>車種 1</p> <p>取扱番号 A52805-081104-622731 確</p> <p><small>本利用証明書は、ETC利用照会サービスで印字されたものです。サービス内容の確認は、http://www.etc-meisai.jp/にアクセスして下さい。</small></p>	<p>ご利用ありがとうございます。</p> <p>利用証明書</p> <p> NEXCO 中日本</p> <p>料金所(自) 沼津 料金所(至) 御殿場</p> <p>18年 5月 8日 16時31分</p> <hr/> <p>通行料金 ¥680- (ETCクレジット)</p> <p>車種 1</p> <p>取扱番号 A52805-081104-624232 確</p> <p><small>本利用証明書は、ETC利用照会サービスで印字されたものです。サービス内容の確認は、http://www.etc-meisai.jp/にアクセスして下さい。</small></p>
---	---

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの	1,360円	100%	1,360円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

決 裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
<p>県 外 調 査 概 要 書</p> <p>平成 3 0 年 5 月 1 6 日</p> <p>会派名・議員氏名 和田 篤夫</p>						
目 的	東京オリンピック・パラリンピック自転車競技開催に伴う諸準備に対する組織委員会への陳情					
年 月 日	平成 30 年 5 月 1 5 日～平成 年 月 日					
場 所	東京都港区 虎ノ門ヒルズ					
内 容	<p>1 行程 自宅（自走）～三島駅～東京～三島駅（新幹線）～自宅（自走）</p> <p>2 対応者 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会会長 森 喜朗 他</p> <p>3 聴取内容 東京オリンピック・パラリンピック自転車競技開催に伴う準備状況報告及び今後の進め方と支援依頼</p> <p>4 県政への反映 2020年に静岡県内で開催される東京オリンピック・パラリンピック自転車競技に関係する県、自治体の首長及び県・町議等計約10名と自転車競技に関係のある国会議員の同行を頂き、大会組織委員会の幹部に対し、現段階での全般にわたる準備の進行状況について認識頂くとともに、今後の競技別（トラック・MTB競技及びロードレース・タイムトライアル）毎の準備項目についての認識の共有を図ることができた。また、今後も主要な結節段階における連携の強化、情報の共有、支援の在り方等について、意見陳述の場を設定させて頂くよう要望した。引き続き、静岡県で開催される自転車競技の成功に向け、組織委員会、競技団体、県、関係自治体、関係議会等が連携しながら、オリンピック・パラリンピックの成功に向けた活動に努力することが不可欠である。</p>					

*本概要書は、県外における調査研究活動のために政務活動費を支出した場合に提出する。

81136
1-6-5-14

領収書

Receipt 様

領収年月日 2018.-5.15

金額 ¥4,000 (消費税等込み)

[クレジット扱い]

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(201912枚)

東海旅客鉄道株式会社

東京駅

東京駅MV853発行 30192-02

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

領収書

Receipt 様

領収年月日 2018.-5.15

金額 ¥4,000 (消費税等込み)

上記金額確かに領収いたしました

購入商品 JR乗車券類 JR tickets

(100151枚)

東海旅客鉄道株式会社

三島駅

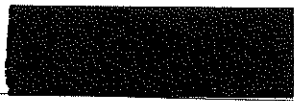
三島駅MV-6発行 20016-02

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

No. 068726

整理番号 17

お車預り証
領収書

車両番号  様

出庫日時	
入庫日時	18 05 15 09:50
駐車料金	1,400

※ お車預り証を失くされた時は、弊社規定（裏面）に従い
お手続きをお願いします。

※ 領収書に社印のないものは無効です。

いつも、ご利用ありがとうございます。

<営業時間> 午前5:30~午後11:50

三島市文教町1丁目7-11 Tel055-986-6505
http://s-mp.net/ Fax055-989-4611

(有)新幹線ミシマパーキング

整理番号 1-6-5-14

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支 出 証 拠 書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・ <u>要請陳情等活動費</u> ・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内 容	県外調査概要書による		
年 月 日	平成 30 年 5 月 15 日～平成 年 月 日	金 額	9.400 円

目 的	東京リトル・ック・パワリトル・ック自転車競技開催に伴う諸準備に対する組織委員会への陳情
使 途	上記対応に要する交通費、駐車場代
政務活動・ 県政との 関連性	静岡県で実施される東京リトル・ック・パワリトル・ック自転車競技開催に伴う諸準備の推進
<<領収書貼付枠>> 別紙	

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの	9.400 円	100%	9.400 円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号 1-6-5-15

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--



支出証 抛書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請請願活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	三島市にて政務調査		
年月日	平成30年5月23日～平成	年月日	金額 1.560円

目的	サンフロント21懇話会総会にて、県東部の活性化について意見交換
使途	上記政務調査時の高速道路代、駐車場代
政務活動・ 県政との 関連性	県東部の活性化について各界有識者との意見交換を通じ、県行政への政策提言に活かす。

《領収書貼付枠》

<p>ご利用ありがとうございます。 利用証明書</p>  <p>料金所(自) 御殿場 料金所(至) 裾野</p> <p>18年 5月23日 14時11分</p> <hr/> <p>通行料金 ¥430- (ETCクレジット) 車種 1</p> <p>取扱番号 A03805-235702-926026</p> <p><small>本利用証明書は、ETC利用照会サービスで印字されたものです。サービス内容の確認は、http://www.etc-meisai.jp/にアクセスして下さい。</small></p>	<p>ご利用ありがとうございます。 利用証明書</p>  <p>料金所(自) 長泉沼津 料金所(至) 御殿場</p> <p>18年 5月23日 17時45分</p> <hr/> <p>通行料金 ¥630- (ETCクレジット) 車種 1</p> <p>取扱番号 A03805-235711-152325</p> <p><small>本利用証明書は、ETC利用照会サービスで印字されたものです。サービス内容の確認は、http://www.etc-meisai.jp/にアクセスして下さい。</small></p>	<p>三島市営中央駐車場 TEL 055-973-6677</p> <p>領収証</p> <p>精算機 #02 A 精算No.000108 発券機 #01 発券No.054036 入庫時刻 2018年 5月23日 (水) 14:38 精算時刻 2018年 5月23日 (水) 17:01 駐車時間 2:23 駐車料金 A料金 500円</p> <hr/> <p>合計 500円 お預り 500円 お釣 0円</p> <p>上記正に領収致しました。</p>
---	---	---

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの	1.560円	100%	1.560円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。

整理番号 1-6-5-16

決裁	会派代表者		経理責任者		経理担当者	
----	-------	--	-------	--	-------	--

支出証拠書

(会派名・議員氏名 自民改革会議・和田 篤夫)

経費項目	調査研究費・研修費・広聴広報費・要請情報活動費・会議費・資料作成費・資料購入費・事務費・事務所費・人件費		
内容	富士宮市にて政務調査		
年月日	平成30年5月31日～平成	年月日	金額 2,210円

目的	R469建設促進期成同盟会にて建設促進について意見交換
使途	上記政務調査時の高速道路代
政務活動・ 県政との 関連性	R469号線沿いの関係自治体の現況を確認しつつ、R469の建設について政策提言に活かす。

《領収書貼付枠》

<p>ご利用ありがとうございます。</p> <p>利用証明書</p>  <p>料金所(自) 新静岡 料金所(至) 新富士</p> <p>18年 5月31日 10時11分</p> <hr/> <p>通行料金 ¥1,040- (ETCクレジット)</p> <p>車種 1</p> <p>取扱番号 A01805-310966-179317</p> <p><small>本利用証明書は、ETC利用照会サービスで印字されたものです。サービス内容の確認は、http://www.etc-meisai.jp/にアクセスして下さい。</small></p>	<p>ご利用ありがとうございます。</p> <p>利用証明書</p>  <p>料金所(自) 新富士 料金所(至) 御殿場</p> <p>18年 5月31日 13時20分</p> <hr/> <p>通行料金 ¥1,170- (ETCクレジット)</p> <p>車種 1</p> <p>取扱番号 A01805-311078-474216</p> <p><small>本利用証明書は、ETC利用照会サービスで印字されたものです。サービス内容の確認は、http://www.etc-meisai.jp/にアクセスして下さい。</small></p>
--	---

按分の理由	領収書金額(a)	按分率(b)	政務活動費支出額(a×b)
全て政務活動にかかるもの	2,210円	100%	2,210円

※ 按分による支出がある場合は、領収書等の金額、按分率及び政務活動費の支出額をそれぞれ該当欄に記入すること。